

## 平成28年度施政方針

## 市民と共に未来を見据えたまちづくり「新しい石巻市」の創造を目指して～

「施政方針」は、市長が市政運営についての基本的な考え方や重点的に取り組む施策等を市民の皆さんにお示しするものです。

平成28年度は、震災復興基本計画10年間の折り返しの年度であり、発展期へつなげる重要な年でもあります。復旧・復興事業を着実に進めるとともに、人口減少等のさまざまな課題に対応するため、各種計画に基づく施策を進め、市民の皆さんと共に未来を見据えたまちづくりに全力で取り組んでまいります。

快適で住みやすく、市民の夢や希望を実現する「新しい石巻」の創造を目指して、5つの柱を軸に復興事業の更なる加速化を図ります。

☒ 復興政策課(内線4213)

## 1 市民の暮らしの再生

復興公営住宅の順次完成および区画整理事業並びに離半島部の防災集団移転促進事業による宅地の提供を推進するとともに、住宅再建の支援策として、市独自の支援制度の活用および新市街地における未登録宅地について、災害危険区域以外の被災された方々等の移転先として提供してまいります。

さらに、市民が安心して健康かつ笑顔で暮らしていくために、石巻駅周辺に行政、防災、医療、福祉等の拠点整備を進めるとともに、総合支所を中心とした地域の拠点づくりを進め、交通網の構築と地域包括ケアシステムによるネットワーク化を図りながら、地域全体で支え合うまちづくりを推進してまいります。

また、被災された方々の心の問題につきましても、専門機関と連携しながら心のケアに努めてまいります。

## ●主要な施策

## ① 市民生活の復興に必要な基盤づくり

- 区画整理事業による市街地整備 ○半島部集落および市街地沿岸部の防災集団移転促進事業 ○復興公営住宅の整備 ○被災者住宅再建事業の充実
- 新市街地の未登録宅地の提供 ○石巻駅周辺の整備 ○市街地再開発事業等
- 雄勝・牡鹿地区の拠点整備 ○雄勝総合支所・荻浜支所庁舎の整備
- 蛇田支所および蛇田公民館の複合施設の整備

## ② 市民生活に密着したインフラの整備

- 復興街路整備(御所入湊線、石巻工業港運河線、渡波稲井線、釜大街道線、(仮称)鎮守大橋、七窪蛇田線) ○公共交通の充実(仙石線東北ライン女川直通工事整備事業) ○石巻総合交通戦略(バス路線の再編、離島航路、新船建造) ○排水不良対策および公共下水道の整備

## ③ 市民が健康に暮らせるための施策

- 生活支援・介護予防サービスの体制整備 ○石巻市立病院の再建
- 地域医療教育サテライトセンターの設置 ○夜間急患センターの再建
- 雄勝診療所の整備 ○寿楽荘の整備 ○国民健康保険被保険者の医療費一部負担金免除 ○被災者の健康支援(健康増進、まちの保健室、心のケア)

## 2 災害に強いまちづくり

昨年も全国的に多くの自然災害に見舞われた年であり、初めての大雨特別警報が発表された9月11日の関東・東北豪雨による渋井川、吉田川の堤防決壊や、9月18日の大雨被害による雄勝地区の法面崩落等に強い危機感を抱きました。

災害発生時の幹線輸送路や避難路の確保は、「災害に強いまちづくり」における喫緊の課題であり、早急に進めてまいります。

また、東日本大震災や全国各地で発生している大規模災害の教訓を踏まえ、地域社会の安全・安心な暮らしの実現のため、盤石の防災体制を構築し、自助、共助、公助に基づく、災害に強い安全で安心なまちづくりを推進してまいります。

## ●主要な施策

## ① 市民が安心して生活するための防災対策

- 自主防災組織の機能強化 ○ハザードマップの作成 ○石巻東消防署、女川消防署雄勝出張所の整備 ○消防団充実強化 ○総合運動公園整備(防災拠点公園) ○旧北上川防災マリーナ整備の推進 ○湊地区および渡波地区の防災緑地の整備 ○海岸保全施設の復旧 ○学校施設太陽光発電設備の整備
- 太陽光発電設置に対する支援 ○防災教育の充実

## 3 産業の再生と人材育成

交通インフラの整備の進捗に伴い、市内外の人の流れが大きく変わり、交流人口の増加、地域の活性化につながる導線が確保されたことから、それらを最大限に生かした企業誘致を始め、6次産業化の推進による販路拡大に向けたブランド力の向上や、新たな担い手を確保するための担い手センターの整備、産学官連携による各種創業支援に取り組むことにより、本市の強みである1次産業を核として2次、3次産業の活性化に努めてまいります。

また、中心市街地のかわまち交流拠点と雄勝、牡鹿、北上地区の観光交流施設の整備を進め、市内全域の観光産業の活性化と地域交流を推進してまいります。

## ●主要な施策

## ① 産業の復興に向けた基盤づくり

- (仮称)水産総合振興センターの建設 ○水産加工団地排水処理機能の復旧
- 漁港施設の復旧 ○被災した漁業集落の復旧 ○被災低平地の整備
- 後川さけふ化場の整備 ○地先漁場資源の回復(シジミ) ○農業の振興(農地集積、集約、生産機材導入助成) ○農業の復旧・復興支援(農業施設)
- 次世代施設園芸導入加速化支援事業の推進 ○産業用地の整備(須江、不動町)
- 産業ゾーン区画整理事業(湊西、上釜南部、下釜南部) ○災害危険区域内で買い取りした土地の有効活用 ○造船業等集約化支援

## ② 中小企業者の再生、復興

- 6次産業化の推進 ○担い手育成支援および担い手センターの整備 ○水産加工業の復旧・復興支援(輸出化販路拡大) ○新たな特産品の研究開発
- 畜産業の振興(和牛ブランド化) ○創業の支援 ○企業の支援 ○中小企業の復旧支援 ○中小企業融資あっせん(災害関連枠) ○雇用創出事業の継続およびテレワーク事業

## ③ 観光産業の振興

- かわまち交流拠点整備事業の推進 ○雄勝地区および牡鹿地区の観光施設の整備 ○北上フィールドミュージアム観光物産交流施設の整備 ○白浜海水浴場等の整備 ○金華山休憩所の復旧 ○金華山島内道路の整備

## 4 子育てしやすい環境づくり

本市においては、若者の人口流出により、今後、地域経済や地域社会の停滞に深刻な問題を引き起こす恐れがあるため、結婚から子育てまでの切れ目のない支援や子どもたちの健全な育成のための支援について、ハード・ソフト両面から各種施策を実施し、子育てしやすい環境づくりを推進してまいります。

## ●主要な施策

## ① 結婚から子育てまでの切れ目のない支援

- 結婚支援 ○特定不妊治療費の助成 ○妊婦歯科検診 ○妊産師による心とからだのトータルケアの推進 ○子育て世代包括支援センター事業 ○男性の育児参加の促進

## ② 子どもたちの健全な育成のための支援

- 保育所の建設(門脇・大街道、渡波、雄勝) ○民間保育施設整備の促進
- 放課後児童クラブの整備 ○渡波中学校および雄勝地区統合小・中学校の移転新築 ○学校校舎の老朽化対策 ○奨学金貸与事業の充実 ○子ども医療費の助成 ○生活困窮世帯への学習支援 ○小中学校への巡回科学教室(サイエンスラボ事業)の実施 ○学校司書の配置 ○食物アレルギー対応給食の実施
- スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置 ○復興心のサポート
- 特別支援教育支援員の配置 ○家庭教育学級の開設および家庭教育の支援

## 5 絆と協働の共鳴社会づくり

復興を進めていくためには、「人のつながり」を取り戻し、子どもや子育て世代、働き手世代、高齢者といった地域のあらゆる世代が連携してコミュニティの構築を進めていく必要があり、地域包括ケアシステムの理念に基づき、地域コミュニティの再構築や活性化に向けた支援を進めてまいります。

このコミュニティを基盤として、高齢者が元気に地域社会に参加し、自律的、快活に暮らし続けられるまちづくりの実現を目指すとともに、安心して暮らすことのできる保健、福祉、医療、介護等の態勢を構築していくため、医療・福祉職の人材確保と人材育成を行うとともに、高齢者や被災者のみならず、子育て世代も含めた次世代型地域包括ケアシステムの基礎力づくりを推進してまいります。

また、本市は、震災における国内最大の被災地であることから、内外に向けた防災教育の推進と震災を風化させないよう、防災意識の啓発を目的とした修学旅行の誘致活動を進めるとともに、広域連携による観光交流事業として復興支援を目的に開催される「ツール・ド・東北」につきましては、全国各地や海外からも多くの皆さんに参加いただいておりますことから、「感謝の心で、最高のおもてなし」ができるよう、更なる事業の発展に向け、官民連携体制の強化を図ってまいります。

さらに、交流人口の増加や地域振興を図るためには、着地型観光ビジネスモデルの開発が必要であり、マーケティング機能やマネジメントできる「石巻版DMO」の設立に向け研究を進めてまいります。

## ●主要な施策

## ① 地域包括ケアの推進

- 地域包括ケアシステムおよび共生型地域包括ケアサービス事業の推進

## ② 地域コミュニティの再生

- 地域コミュニティの再生(コミュニティ形成の支援、復興公営住宅コミュニティ促進事業、集会所建設および初期備品補助、地域づくりコーディネート)
- 仮設住宅入居者における安全安心の確保

## ③ 定住・移住・交流の促進

- 医療・介護分野における人材確保のための奨学金返還支援 ○移住対策
- 古民家活用モニター ○南浜地区および中瀬地区の公園整備 ○いしのまき水辺の緑のプロムナード整備事業の推進 ○博物館機能および文化ホール機能施設整備事業 ○旧石巻ハリストス正教会教会堂の復元およびかんけい丸保存活用 ○修学旅行誘致活動の推進 ○ツール・ド・東北推進事業 ○大型客船等寄港誘致活動 ○ラグビーワールドカップ2019キャンプの誘致および2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業 ○石巻版DMOの推進